



受章の報告に町役場を訪れた津金さん(右)

地方自治伸展の功績をたたえる

前町長の津金要雄さんに旭日小綬章

秋の叙勲で旭日小綬章を受章した前町長の津金要雄さんは11月5日、町役場を訪れ、前後公町長に報告しました。津金さんは町議会議員を3期9年間務めた後、町長を4期16年務めるなど、長きにわたって町政の発展に尽力し、地方自治の伸展に寄与した功績が認められたものです。津金さんは「私だけの力ではなく、皆さんの力添えがあったからこそ受章できた。町民の皆さんに感謝しています」と話しました。

町民の健康のため発展誓う

町食生活改善推進委員会が20周年記念式典

創立20周年を迎えた町食生活改善推進委員会は11月27日、町農村環境改善センターで記念式典を行い、これまでの歩みを振り返るとともに、さらなる発展を誓いました。式典では、全員で会歌を斉唱。星久子会長が「今後も地域住民の健康のため活動していきたい」とあいさつしました。会の運営に貢献した会員への表彰も行われ、星会長が表彰状を手渡しました。式典に続いて祝賀会が開かれ、会員らが食事を囲んで和やかに歓談しました。



祝賀会の様子。手作りのラズベリージュースで乾杯



新妻常務に請求書を手渡す前後町長

東京電力に約4200万円請求

福島第一原発事故による損害賠償として

町は11月28日、東京電力福島第一原発事故による損害賠償として約4200万円を東電に請求しました。請求の対象期間は24年4月から25年3月までで、主な内容は風評被害対策事業費約1900万円、24年度個人住民税減収分約670万円、入湯税減収分約570万円などです。前後町長が、町役場を訪れた東電の新妻常務に請求書を手渡しました。東電への損害賠償請求は昨年12月に請求した23年度分に次いで2回目です。

児童らが湖の環境保全呼び掛ける

学びいなで環境フォーラムを開催

「環境フォーラム2013 in いなわしろ」は11月15日、学びいなで開かれました。全国モーターボート競走施行者協会からの拠出金を受けて実施したもので、会津若松、郡山、猪苗代の3市町の児童が取り組んでいる環境保全活動などについて発表しました。本町からは翁島小の5年生がステージに上がり、猪苗代湖のクリーン作戦やアサザの移植、ヨシ刈りなどの活動内容を発表するとともに、美しい湖を取り戻すために協力を呼び掛けました。



真剣な表情で水質保全の大切さを訴える翁島小の児童たち

後輩たちに楽器と想いを託す

長瀬小マーチングバンド移杖式



長瀬小マーチングバンドの発表会・移杖式は11月22日、カメリーナで行われ、6年生が最後の演奏を披露し、後輩たちに楽器を託しました。

発表会では、バンドマスターの田母神幹太さん(6年)が「これまでお世話になった人たちのために演奏したい」とあいさつ。保護者や地域の人たちが見守る中、6年生は感謝の気持ちを込めて精一杯演奏・演技しました。

移杖式では、三瓶水葵さん(6年)が山口愛海さん(5年)に指揮杖を手渡し、ほかのメンバーも後輩たちに楽器を託しました。下級生を代表し新バンドマスターの青木里奈さん(5年)が「6年生の思いを下級生に必ず伝えていきます」と伝統を受け継ぎ、活躍することを誓いました。

写真上 息の合った演奏・演技を披露する児童

写真左下 会場には保護者や地域の人たちが大勢訪れ、6年生の最後の演奏を見守った

写真右下 6年生たちとの演奏もこれで最後。指揮杖を受け取り、思わず涙があふれる

優れた医学研究の功績をたたえる

学びいなで野口英世医学賞授賞式

免疫学や細菌学の分野で優れた医学研究を顕彰する第56回野口英世博士記念医学賞の授賞式は11月9日、学びいなで行われ、授賞した獣医学博士で大阪大微生物病研究所の松浦善治氏の功績をたたえました。野口英世記念会の八子弥寿男理事長が松浦氏に賞状を手渡しました。松浦氏の研究は「C型肝炎ウイルスの増殖と病原性発現に関与する宿主因子の解析」で、肝臓がんの進行を抑える新薬開発につながると期待されています。



八子理事長から表彰を受ける松浦氏(右)と裕子夫人(中央)

町内の絶品スイーツが大集合

猪苗代スイーツフェスタを初開催

第1回猪苗代スイーツフェスタは11月17日、レイクサイド磐光で開かれ、来場者が町内9店舗の絶品スイーツを堪能しました。会場には約30種類の和菓子や洋菓子、パンが並び、スイーツを選ぶ来場者でにぎわいました。子どもらと共に訪れた佐藤良秋さん(郡山市)は「いろいろなお菓子が食べられてうれしい。和菓子はとてもきれいで、食べるのがもったいないくらいだった。2回目、3回目も開催してほしい」と話していました。



絶品スイーツに舌鼓を打つ来場者



くす玉を割って盛大に竣工を祝いました

砂防整備工事の完了を祝う

24年前の台風被害による大倉川改修工事

24年前の台風災害を受けて改修していた大倉川の火山砂防事業竣工式は10月31日、中ノ沢体育館で行われ、工事の完了を祝うとともに、防災への誓いを新たにしました。大倉川は、平成元年8月の台風13号による豪雨で大倉川2号橋（現新大倉川橋）が流され、11人が死亡・行方不明になるなどしました。式には関係者約70人が出席。くす玉を割って完了を祝いました。終了後、新大倉川橋近くの慰霊碑で献花し、犠牲者を追悼しました。

冬に備え防火への誓い新た

県消防協会猪苗代支部が検閲

県消防協会猪苗代支部の秋季連合検閲は10月27日、猪苗代小学校で行われ、団員らが防火への誓いを新たにしました。猪苗代、磐梯両町の消防団員約500人とポンプ車8台が出勤。役場から猪苗代小まで行進した後、通常点検などを行いました。訓練後、検閲官の前後公町長が「火災の発生しやすい季節を迎えるため、予防消防をさらに徹底し、非常時に迅速かつ適切に対応できる体制を引き続き堅持してほしい」とあいさつを述べました。



町内を行進する団員ら



試合に参加した6年生たち

チームの垣根越えて親睦深める

スポ少ソフトボール部が特別引退試合

町内スポーツ少年団ソフトボールの「全猪苗代6年生特別引退試合ならびに5年生以下混合強化試合」は11月4日、猪苗代小グラウンドで行われました。この試合は、チームの垣根を越えて協力し合い、親睦を深めるとともに、6年生の技術を下級生に伝え、全体のレベルアップを図ることを目的に実施されたものです。5、6年生の交流試合や4年生以下の交流試合、6年生選抜と5年生以下選抜によるエキシビジョンマッチを繰り広げました。

町民が文化の秋に触れる

恒例の学びいな秋祭りを開催

学びいな秋まつりは11月2、3の両日、学びいなで開かれ、多くの町民が文化の秋に触れました。学びいなホールでは、町体験交流協会加盟団体のステージ発表に加え、青少年メッセージ2013の各部門で最優秀賞に選ばれた児童・生徒らの発表も行われました。館内の研修室では、町主催講座受講生の作品展示や高齢者作品展が行われ、温かみのある作品の数々が、見る人を和やかな気持ちにさせていました。



学びいなホールでは多彩な演目が繰り広げられました



テレビ電話で五十嵐町長、小椋村長と協議する前後町長

万一の磐梯山噴火に備えて

磐梯山火山防災連絡会が訓練を実施

猪苗代、磐梯、北塩原の3町村で構成する磐梯山火山防災連絡会は11月12日、情報受伝達訓練を実施しました。訓練は、磐梯山で火山性微動を2度観測、噴火警報が発表されたとの想定で実施。福島地方気象台からの連絡を受けた担当者らが、各町村長に報告した後、前後公町長、五十嵐源一磐梯町長、小椋敏一北塩原村長の3人が、テレビ電話を使って現状報告や登山者、住民、観光客らの安全対策などを協議しました。

自衛官募集への協力に感謝

町に防衛大臣感謝状

町はこのほど、防衛大臣の感謝状を受けました。この感謝状は、長年にわたり自衛官の募集に積極的に協力した功績に対し贈られたものです。贈呈は10月26日、自衛隊記念日中央行事の一つで、防衛基盤の育成や隊員募集などに貢献した一般功労者・団体を表彰する平成25年度防衛大臣感謝状贈呈式において行われ、小野寺五典防衛大臣が前後町長に手渡しました。贈呈式では、企業、自治体など69団体と65個人に感謝状が贈られました。



小野寺防衛大臣から感謝状を受ける前後町長(左)



戸田会長から役員表彰を受ける滝澤幸市さん(右)

今後もますますのご活躍を

学びいなで町高齢者福祉大会を開催

第44回町高齢者福祉大会は10月25日、学びいなで開催され、町内の老人クラブ会員ら約340人が出席しました。町老人クラブ連合会の戸田忠義会長が「活力を持って地域社会に貢献しよう」とあいさつした後、役員表彰と会員加入増強老人クラブ顕彰伝達、しあわせ金婚夫婦表彰が行われました。式典後は、各地区の老人クラブ会員らがアトラクションを披露し、歌や踊りなどで会場を盛り上げました。

環境保全の大切さを考える

猪苗代湖、裏磐梯湖沼水環境保全フォーラム

猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全フォーラムは11月22日、ホテルリステル猪苗代で開かれました。パネルディスカッションでは、猪苗代湖の自然を守る会の鬼多見賢代表をコーディネーターに、ロータリー猪苗代湖水環境協議会の中村岳嗣事務局長ら5人が「地域における環境活動の活性化」をテーマに討論しました。俳優の中本賢さんの講演や、環境保全活動などに取り組む団体の活動報告も行われました。



活発な議論が交わされたパネルディスカッション